

平成 21 年度

東邦大学医学部看護学科

昆明医学院第二医学院 国際交流訪問報告書

平成 21 年度東邦大学医学部看護学科昆明医学院第二医学院

国際交流訪問報告書 目次

1. 訪問教員および訪問日程
2. 訪問報告
3. 交流風景

訪問教員

長谷川 美津子 地域・在宅看護学研究室教授

横井 郁子 高齢者看護学研究室教授

小林 寅喆 感染制御学研究室教授

佐山 理絵 国際保健看護学研究室助教（国際交流委員会委員）

訪問日程(2009年8月17日～8月21日)

日	時	内容	昆明側参加者等
8/17 (月)	10:35 13:25 16:05 19:30	成田 北京(NH905) 北京 昆明(CA1431) 滞在先:新南疆飯店(～21日)	袁慧云氏(昆明医学院第二医学院看護部長) 李佳氏(昆明医学院第二医学院看護部)
8/18 (火)	8:00 8:30 8:50 9:50 11:15 12:30 14:00 18:00	ホテル出発 日中看護学術研究会 於:昆明医学院第二医学院会議室 長谷川教授 講演 「八段錦を用いた在宅酸素療法高齢者のQOL改善について」 佐山助教 講演 「文化を考慮した看護と国際看護学」 国際交流打ち合わせ 昼食 雲南民族村見学 会食(主催:朱副院长)	朱榆紅氏(昆明医学院第二医学院副院长) 袁慧云氏 楊明莹氏(昆明医学院第二医学院副看護部長) 袁慧云氏、楊明莹氏、李佳氏 劉紅莉氏(昆明医学院第二医学院形成外科看護師) 李佳氏、劉斯氏 朱榆紅氏、袁慧云氏、楊明莹氏 楊永芳氏(昆明医学院第二医学院医師) 趙忠梅氏(昆明医学院第二医学院看護部) 張煥英氏(昆明医学院第二医学院看護部)
8/19 (水)	8:00 8:30 8:35 10:05 12:10	ホテル出発 日中看護学術研究会 於:昆明医学院第二医学院会議室 小林教授 講演 「病院感染と抗菌薬耐性菌」 横井教授 講演 「いのちを見守るコミュニケーションデザイン」 昼食	袁慧云氏、楊明莹氏 他

	14 : 30 15 : 10 18 : 00	昆明医学院第二医学院 見学 中医学科 検査科 (微生物室) 消化器外科病棟 産科・新生児病棟 夕食	袁慧云氏、李佳氏 張玥氏 (昆明医学院第二医学院看護部) 慧慧云氏、楊明莹氏、趙忠梅氏、張煥英氏、李佳氏、張玥氏、劉斯氏
8/20 (火)	8 : 30 11 : 00 13 : 30 16 : 30 19 : 00 21 : 00	ホテル出発 石林 見学 昼食 昆明市内 見学 夕食 昆明市内 見学	袁慧云氏、李佳氏 慧慧云氏、楊明莹氏、趙忠梅氏、張煥英氏、李佳氏、張玥氏
8/21 (金)	8 : 05 11 : 20 14 : 45 19 : 15	洛陽 (CA1471) 北京 北京 (NH906) 成田	袁慧云氏、李佳氏

日中看護交流 昆明訪問記

長谷川美津子（地域・在宅看護学研究室 教授）

雲南省は中国の西南部に位置し、北は四川省、東は広西・貴州省、南と西はベトナム、ラオス、ミャンマー、チベット自治区と接し、面積は日本とほぼ同じです。省都である昆明市は標高1900m弱の高地にあります。機上からの眺めは緑の樹木に覆われた美しい山々と細かく区分された棚田が印象的でした。気候は「春城」（春の街の意）と呼ばれるだけあって、1年中温暖で爽やかです。

昆明市は約608万人が住む大都市ですが、雲南省には中国の少数民族の約半数である26民族が生活しており、雲南省全人口の1/3を占めているとのことでした。

今回は昨年昆明医学院第二臨床医学院と東邦大学医学部看護学科との交流覚書に基づく第2回目の交流訪問です。期間は8月17日から21日までの5日間。メンバーは横井郁子教授（高齢者看護学）・小林寅喆教授（感染制御学）・佐山理絵助教（国際保健看護学）と在宅看護学の私の4人です。学術交流として4人による講義と昆明医学院第二臨床医学院の付属病院を見学させて頂きました。

付属病院の治療は西洋医学が中心ですが、中国の伝統医学である中医学（漢方・鍼灸・氣功・太極拳等）も並行して行われていました。中医学の治療法は人間を全体とし捉え、個々の健康状態に合わせて心身のバランスを重視して治療することを基本にしています。ホリスティックな視点は看護と共通するものがあります。日本の看護は戦後、欧米看護を手本として発展させてきましたが、中医学の視点も取り入れて見直してみる必要もあるのではないかと感じました。

文化や習慣の違いにより看護のやり方にも多少の違いがあります。例えば、新生児の沐浴は首に浮輪をつけ立位姿勢で遊泳させる方法で実施していました。

学術以外の交流も実りあるものでした。滞在中私たちが快適に過ごせるようにといろいろ配慮して頂き、心のこもった歓待には感激しました。

市内散策では、珍しい民族料理を賞味したり、人生の喜びや幸せを三杯のお茶で味わう「白族の三道茶」（1杯目は苦く、2杯目は甘く、3杯目は苦味と甘味の混ざった味といわれ、3杯目は飲む人によりどちらの味が強く感じるかが異なります。）を体験しました。また、夜八時を過ぎてもまだ日が暮れない街中では大勢の人たちが繰り出して、唐辛子がたっぷり入った真っ赤なスープレ麺類やバーベキュー風の焼き物を店先で食べていたり、早朝の広場や公園では高齢者は太極拳・若者はジョギングを楽しんでいるなど、住民生活の一端を散見しました。

文化の違いを肌で感じて理解することはその国を真に理解するうえでとても大切です。まさに「百聞は一見に如かず」です。

昆明は2400年の歴史を持つ古い大都市ですが、中国全体の市場開放経済の進展の中で、病院でも街中でも20～40代の若い年代層が新しい社会・文化を拓く主役として活躍していました。その熱意とエネルギーが短期間の滞在である私たちにも伝わってきました。

日本の未来の看護を担う若い世代の方々には他国との交流の機会を積極的に活用して自分の世界を拡げ、広い視野で看護を発展させていって欲しいと願っています。最後に、紙上を借りて、昆明でお世話になった皆様に心から御礼申し上げます。「謝謝」。

昆明医学院第二医学院を訪問して

横井郁子（高齢者看護学研究室 教授）

今夏、昆明医学院第二医学院で講演、研修という貴重な機会をいただいた。

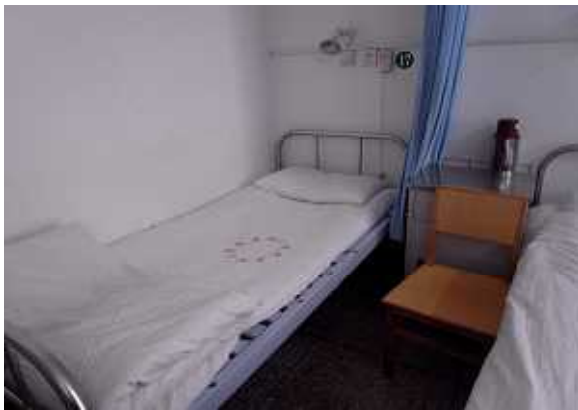
講演は第二病院の看護師だけでなく、他病院からも参加してくださり終始和やかな雰囲気であった。日本の各支部の看護協会が行う研修に似た場での講演であった。

私は療養環境に関することについて話させていただいた。離床を促進するベッド、サイドレールのほか、離床センサーなどの安全対策に関するものも一部紹介した。講演終了後、数人の聴衆からプレゼンテーションファイルを求められ、こちらでも関心のある素材だったのかと興味深く思うと同時に、役割を果たせたことに正直ほっとした。

その後、病院の入院室を見学させていただいた。ベッド等、療養用具は決して新しいものではないが清潔を保ち、整えられている印象を受けた。ここでは入院中でも家族の存在は大きく、療養環境も影響を受けていることが推察された。すでに高層ビルの新病棟が隣に建設中であり今後の展開が興味深い。

外来で喫煙する人を厳しく注意する看護師の姿を見て苦笑してしまった。病院という場を療養に適したものに整えていくためには看護師の役割は大きい。それは昆明医学院第二医学院でも同様であることを知った一瞬であった。

今回の研修を調整してくださった両国のスタッフの方々に心より御礼申し上げます。



昆明訪問報告

小林寅喆（感染制御学研究室 教授）

8月17日から21日までの5日間、国際交流活動の一環として、昆明医学院第二附属病院を訪問した。まず先に袁先生をはじめとした病院スタッフ関係諸氏より到着時のお迎えから滞在中および出発まで終始、過分なおもてなしを受けたことに感謝述べたい。

今回、我々の任務は昆明医学院第二附属病院との交流のうち18～19日の間に開催された学術検討会での講演ならびに交流諸手続きに関する調整であった。後者は小職の担当外なので講演についていくつか所感を述べる。聴衆は看護師スタッフと聞いていたが、小職の専門分野である感染制御に関する内容がどの程度理解いただけるか不安があった。感染制御における血流感染についてガイドラインならびにInfection Control Teamとしての実経験について解説した。思った以上に熱心に聴講され、多くの質問をいただいた。質問の内容は血流感染の診断に及ばず採血時の諸因子についてであった。

病院ツアーで感染症(微生物)検査室についても見学させていただき、主な検査材料は喀痰と下痢便である事からその地域の感染症事情を察するものであった。その他、当地における看護師の役割は限られたもので食事の配膳(buffet styleの食堂に容器を持って取りに行く)などは患者の家族が行い、看護に直接関わらない作業は他のスタッフが対応していた。その一方で、患者が自由に病院を選びさらには主治医と看護師も指名できるシステムには全体としてアンバランスを感じた。また、選ぶ病院さらには主治医・看護師によって支払う費用が異なる点については我が国と大きく異なる点であった。今回短い滞在であったが先方の計らいにより公私とも充実した時間を過ごすことができた。今後、是非若い先生方にキャリアの一つとして体験していただきたい。

交流風景



8月18・19日
日中看護学術検討会





日中看護学術検討会 告知板の前で

(左より)

横井教授

小林教授

李佳氏

袁教授

長谷川教授



8月19日
昆明医学院第二臨床医院
見学

中医学医師と会談



中医学診療科 見学



微生物検査室 見学



昆明医学院第二臨床院 医師とともに太極拳の実践





8月18日
雲南民族村 訪問





朱榆紅昆明医学院第二臨床
医学院副院長 主催会食



(上段左から)

佐山助教

張煥英氏

袁慧云氏

楊永芳氏

楊明瑩氏

趙忠梅氏

(下段左から)

小林教授

朱榆紅氏

長谷川教授

横井教授



8月20日
石林 訪問



国際交流委員会

委員長 岡田 敦子
副委員長 野崎 真奈美
委員 量 倫子
佐山 理絵
細谷 幸子

平成 21 年度 東邦大学医学部看護学科昆明医学院国際交流訪問報告書

発行日 平成 21 年 10 月 21 日

発行 東邦大学医学部看護学科 国際交流委員会

〒143-0015 東京都大田区大森西 4-16-20

TEL 03 (3762) 9881
